



平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司  
( J A S D A Q ・ コード 8 7 0 5 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 杉 本 卓 士  
電 話 0 3 - 5 5 4 3 - 8 7 0 5

**平成 27 年 3 月期第 3 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ**

平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結業績見込み

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前年同期実績 (平成 26 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (A)	3,864	533	598	478
当期実績見込み (平成 27 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (B)	3,748	420	448	362
増 減 額 (B - A)	△116	△113	△150	△116
増 減 率 (%)	△3.0	△21.3	△25.1	△24.2
(ご参考) 平成 26 年 3 月期実績	4,975	553	620	445

## 2. 業績概要等

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動から、4～6 月期、7～9 月期は 2 期連続で前期比マイナス成長となりました。しかしながら、輸出は次第に持ち直し、公共投資は高水準を維持し、企業の設備投資も緩やかな増加傾向となるなかで、雇用情勢は改善しており、個人消費にも底堅さがみられました。

商品市況は、石油は新興国経済の鈍化などから需給が緩和し大幅に下落、穀物は米国の豊作による需給緩和で下落しましたが、貴金属はドル高や株価堅調を背景とした下落から次第に持ち直し、全国市場売買高は 34,180 千枚（前年同期比 89.4%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料は 3,287 百万円（前年同期比 94.9%）となりました。また、売買損益につきましては、商品売買取引が増加したこともあり、60 百万円の利益（前年同期比 165.5%）となりました。

この結果、営業収益は 3,748 百万円（前年同期比 97.0%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、3,328 百万円（前年同期比 99.9%）となる見込みであります。これらにより、営業利益は 420 百万円（前年同期比 78.7%）、経常利益は 448 百万円（前年同期比 74.9%）、四半期純利益は 362 百万円（前年同期比 75.8%）をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上